

講演
音楽
落語

漱石の散歩道



PROGRAM

第1部 講演 「漱石と物理学校」

東京理科大学 学長 藤嶋 昭

第2部 演奏会 「倫敦の漱石」

～20世紀初頭のイギリス音楽の世界～

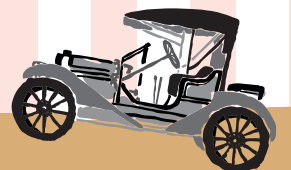
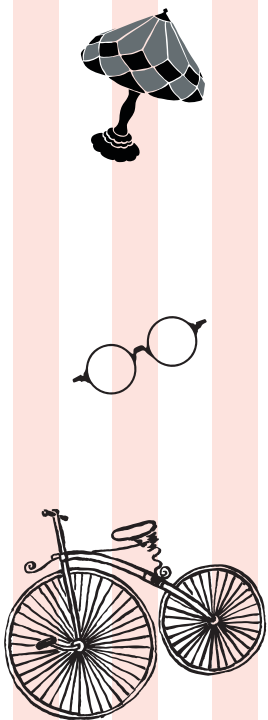
エルガーやホルスト作曲の弦楽合奏

第3部 落語 「東京の漱石」

～漱石が愛した落語の世界～

三遊亭圓窓「吾輩は坊っちゃんである」

三遊亭王楽「野ざらし」



▶日時

平成27年2月8日(日) 14:00開演(13:15開場)

▶会場

四谷区民ホール(四谷区民センター9階)

講演・音楽・落語「漱石の散歩道」開催にあたって



夏目漱石記念施設整備プロジェクトVol.4 ～講演・音楽・落語「漱石の散歩道」～にご来場いただき、誠にありがとうございます。

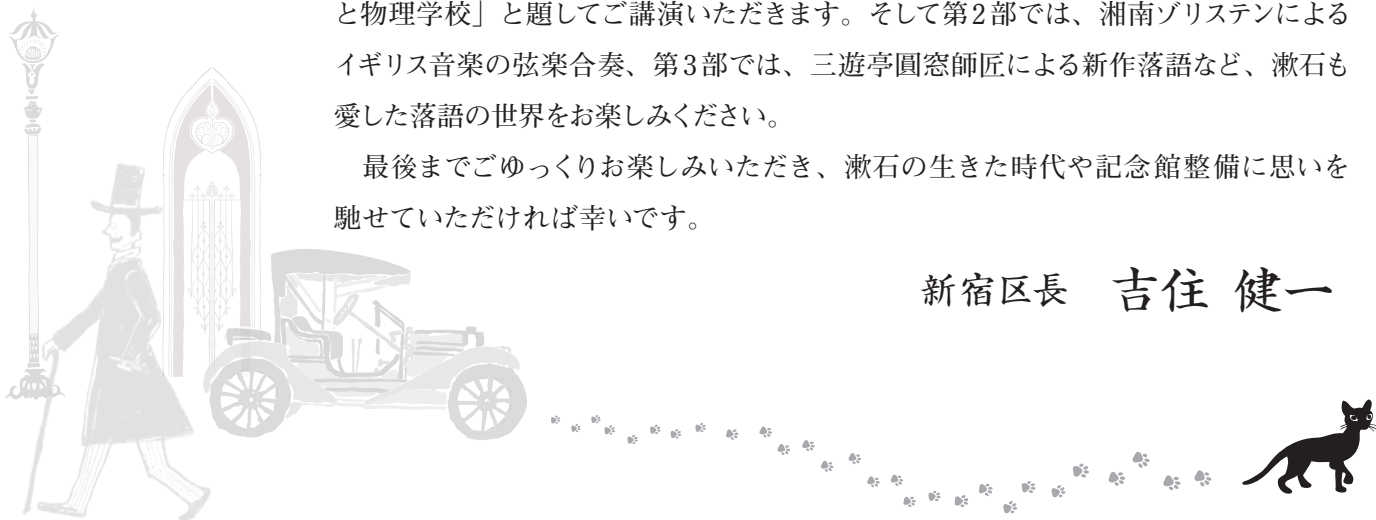
新宿区は、漱石生誕150周年となる平成29年2月の開館に向けて、漱石が晩年の9年間を過ごし、数々の名作を世に送り出した新宿区早稲田南町7番地に、漱石にとって初の本格的な記念施設となる（仮称）「漱石山房」記念館の整備を進めています。

記念館の整備にあたっては、多くの方々のお力添えをいただきたいと考え、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置し、平成25年7月から寄付の受付を開始いたしました。ご厚志をお寄せいただきました皆さまには心より御礼申し上げます。開館に向けて、引き続き皆さまの温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本日の第1部では世界的な科学者である東京理科大学学長の藤嶋昭さんに、「漱石と物理学校」と題してご講演いただきます。そして第2部では、湘南ゾリステンによるイギリス音楽の弦楽合奏、第3部では、三遊亭圓窓師匠による新作落語など、漱石も愛した落語の世界をお楽しみください。

最後までごゆっくりお楽しみいただき、漱石の生きた時代や記念館整備に思いを馳せていただければ幸いです。

新宿区長 吉住 健一



第1部
講演

「漱石と物理学校」

『坊っちゃん』の主人公は東京物理学校（現在の東京理科大学）の卒業生——。同大学となじみの深い漱石や『坊っちゃん』を、世界的な化学の研究で知られる現在の学長、藤嶋昭さんに、科学者の目で語っていただきます。

講師 東京理科大学 学長 藤嶋 昭


Profile 昭和17年(1942)東京都生まれ。東京大学大学院博士課程修了。東京大学工学部教授、同大学特別荣誉教授、日本学術会議会員、日本化学会会長などを歴任。平成22年(2010)に現職。昭和42年(1967)に酸化チタンを使った光触媒反応を発見、「ホンダ・フジシマ効果」として世界的に知られる。この光触媒には、空気や水の浄化、セルフクリーニング、抗菌・殺菌の効果があり、におい消しや空気清浄機、外装建材などに広く応用されている。朝日賞、日本学士院賞、恩賜発明賞などを受賞。平成15年(2003)に紫綬褒章、平成22年に文化功労者に選ばれる。



第2部
演奏会

「倫敦の漱石」～20世紀初頭のイギリス音楽の世界～

33歳の漱石が明治政府の命で英国に発ったのは19世紀最後の年にあたる1900年。長い船旅ののち、パリ万博を見学して10月28日にロンドンに到着します。後に『文学論序』の中で「倫敦に住み暮らしたる二年は最も不愉快の二年なり」と書いている漱石ですが、1902年12月5日に帰国のためロンドンを発つまでの2年間、留学の目的である英文学の研究のため、下宿にこもって読書ばかりしていたという話はよく聞きます。しかし現存する博物館や美術館、劇場にも結構訪れていたようです。時は大英帝国の絶頂期。日本ではなじみの薄いイギリス音楽ですが、いくつかの大輪の花を咲かせていました。

 **「弦楽セレナーデ ホ短調」 作品20**
エドワード・エルガー作曲 (1857～1934)

イングランド西部ウスターに生まれたエルガーは、生涯緑したたる田園風景を好み、初期の作品である弦楽セレナーデにも、その嗜好は色濃く出ている。他に英国の第2国歌とされる「威風堂々」や、「チェロ協奏曲」がある。

 **「セント・ポール組曲」 作品20 No.2**
グスタフ・ホルスト作曲 (1874～1934)

ホルストと言えば、平原綾香さんが歌う「Jupiter」の原曲となった組曲「惑星」が有名。この組曲の作曲は1913年。半生に渡って音楽を教えたセント・ポール女学院の弦楽オーケストラのために作曲した。

 **「ロンドンデリーの歌」** (浦井 勝美 編曲)
フリッツ・クライスラー作曲 (1875～1962)

20世紀屈指のヴァイオリニストで作曲家のクライスラーが、北アイルランドの民謡を編曲したものの。同じ民謡に歌詞を付けた「ダニー・ボーイ」も有名。クライスラーには他に「愛の喜び」「愛の悲しみ」がある。

演奏

湘南ゾリステン



Profile

湘南ゾリステンは、昭和63年(1988)に神奈川ゆかりのプロ演奏家により結成され、翌年(1989)1月デビュー公演を行う。同年4月ヴァイオリニスト千住真理子のヴィヴァルディー「四季」CD発売記念コンサートに出演、東京にデビューを飾る。メンバーは東京芸術大学をはじめとする都内音楽大学出身者および、新日本フィルハーモニー交響楽団元団員など経験豊かな演奏者によって構成されている。

ヴァイオリン独奏

河野 由里恵



Profile

愛知県立芸術大学首席卒業。東京藝術大学大学院修了。在学中ドイツ～ライブツィツヒに留学。第18回日本クラシック音楽コンクール全国大会最高位。第14回KOBEL国際学生音楽コンクール最優秀賞。第21回レ・スプレンドル音楽コンクール室内楽部門第1位。

指揮

浦井 勝美



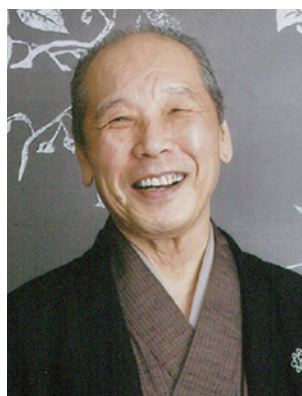
Profile

東京藝術大学別科在学中に新日本フィルに入団。小澤征爾、井上道義、両氏指揮の下でオーケストラにおけるチェロの研鑽を積む。JMJ主催指揮セミナーにて尾高忠明、若杉弘、両氏に指揮の指導を受ける。現在、湘南ゾリステン主幹、チェロ奏者として活躍中。

第3部
落語

「東京の漱石」～漱石が愛した **落語** の世界～

若い頃から亡くなる直前まで漱石がこよなく愛したのが落語でした。圓窓師匠による新作落語と、漱石が聴いたであろう「野ざらし」をお楽しみください。



撮影：駒場和宏

三遊亭 圓窓

新作落語

「吾輩は坊っちゃんである」

坊っちゃんが一番大切に思っていた人、それは女中のお清。小さいころから、寂しい時も悲しいときも、いつも陰ながら支えてくれた。坊っちゃんが中老を超えたある日、ふたたび二人の絆が深まる出来事が…

Profile 昭和15年(1940)東京深川生まれ。昭和34年(1959)六代目三遊亭圓生門下に入る。昭和44年(1969)真打に昇進し、六代目三遊亭圓窓を襲名。古典落語はもとより、新作落語にも積極的に取り組み、パソコン通信や民話、シェークスピアや歌舞伎など芝居を取り入れた落語を続々と発表している。昭和38年(1963)に始めたライブワーク「圓窓五百噺を聴く会」は平成13年(2001)に達成した。



三遊亭 王楽

古典落語

「野ざらし」

落語好きな漱石が、好んで聞きたいいくつかの演目の中で、今回は古典落語『野ざらし』を選びました。主人公が釣りに行って、野ざらしのどくろを見つけます…

Profile 昭和52年(1977)東京都生まれ。平成13年(2001)五代目三遊亭圓楽入門、同時に父である三遊亭好楽の兄弟弟子となる。平成20年(2008)NHK新人演芸大賞(落語部門)を受賞。平成21年(2009)真打昇進。



漱石には理系のセンスもあつた

小説『坊っちゃん』の主人公は東京物理学校（現在の東京理科大学）を卒業した松山の中学校の数学教師という設定です。これには別にモデルがいるとされていますが、英文学を専門とした漱石自身は理系の学問からは縁遠い人のように思われがちです。

しかし、漱石の教え子で物理学者となった寺田寅彦によれば、漱石は一度聞いた光の圧力を扱った実験についてすぐに理解を示し、『三四郎』の中で再現してみせたり、科学の方法論に強い関心を寄せたりしていたそうです。

最初の作品『吾輩は猫である』にも、遺作となった『明暗』にも当時の科学を参照した部分が見られるので漱石は常に同時代の科学の研究動向に関心をもっていたのでしょう。

また、漱石の創作理論とされる『文学論』はロンドン留学中に出会った物理学者の池田菊苗に強く影響を受けたと考えられます。

漱石は文学一辺倒ではなく、理系の学問にも人一倍関心も強く、素養があつたのです。



(記念館イメージ図)

ともに創ろう、 (仮称)「漱石山房」記念館

漱石を発信する、活気とにぎわいのある記念館に
漱石文学とともに、ゆったりとした時を過ごせる記念館に



- 記念館内に書斎・客間・ベランダ式回廊など「漱石山房」の一部を再現
- 常設展のほか、企画展や講座・イベントを開催し、漱石やその文学の世界を紹介
- 漱石に関する本を読みながら、ゆったりとした時を過ごせる図書室やカフェを設置



整備予定地 新宿区早稲田南町7番地

- 諸室概要**
- 2階……展示室（企画展示、常設展示）
 - 1階……山房再現展示、導入展示、カフェ、ミュージアムショップ
 - 地下1階…図書閲覧室、講座室、事務室・収蔵庫

設計 フォルムデザインー央株式会社

〈今後のスケジュール〉 平成27年度（2015）建築工事着工
平成28年度（2016）29年2月 記念館開館

夏目漱石記念施設整備基金に ご支援・ご協力をお願いします

漱石ゆかりの新宿のまちに、初の本格的な漱石記念館を整備するため、区民の皆さんをはじめ、多くの方にお力添えをいただきたいと考え、平成25年7月に「夏目漱石記念施設整備基金」を設置しました。目標額を2億円として寄付の募集を開始し、1月7日現在で5,511万3,000円（969件）のご寄付をいただいています。ご厚志をお寄せいただいた皆さんに心より御礼申し上げます。皆さんからの寄付は、記念館の建設と資料の収集に活用します。引き続き、皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

新宿区地域文化部 文化観光課 文化資源係

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 電話 03(5273)4126 〈直通〉